ご使用前と日常の安全点検

⚠ **重要** 必ずご使用前に、また毎日正しく設置されているか点検してください。

ご使用前と日常の安全点検	確認
突っ張りポールはゆるんだり傾いたりせず、確実に固定されていますか?	
フェンスが、がたついたりゆがんだりしていませんか?	
すべてのフックは、確実に固定されていますか?	

⚠ **警告** 点検を行ない、ひとつでも問題があれば、もう一度取り付けをやりなおし、正しく設置しなおしてからご使用ください。

この商品は細心の注意をもとに製造されておりますが、
万が一商品に欠陥があった場合は、ただちに使用を中止し当社までご連絡ください。

保証について

●保証書は(株)日本育児または、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載事項をご確認いただき、大切に保管してください。
●保証期間は、お買い上げの日から6ヵ月間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

中古市場で購入したもの、もしくは未使用でない譲渡品は、保証対象外になります。

生産物賠償責任保険について

当社は本製品を安心してお使いただけるように、品質については細心の配慮をいたしております。この取扱説明書に従って正しく取り付け、正しい方法でお使いになったにもかかわらず、製品の欠陥により、怪我を負ったり財物が破損した場合は、その損害を補償する為に保険会社と「生産物賠償責任保険」の契約を結んでおります。事故が発生した場合は、ただちに当社までご連絡ください。

●ご注意：この制度は、傷害などの身体的な損害と財物の破損についてのみ補償するもので、製品の品質について保証するものではありません。

保　証　書

本製品は当社の厳密な品質検査に合格したものであり、その品質を保証いたします。お買い上げ日より6ヵ月以内に取扱説明書の注意書にしたがって、正常な使用状態で使用して故障した場合には、下記の保証規定により無償修理いたします。

保 証 規 定

1.保証期間はお買い上げ日より6ヵ月間です。
2.修理は当社、またはお買い上げの販売店にて受け付けます。
3.修理の際は必ず保証書をご提示ください。ご提示のない場合は、有料となります。
4.お買い上げ年月日、お客様の氏名、住所、販売店名のご記入がない場合、またはそれらを訂正した場合は無効となります。
5.次のような場合には保証対象外となり、保証期間内でも有料となります。
　●使用法の誤り、または乱用による故障。
　●不当な修理、改造、分解掃除等による故障。
　●天災、火災による故障および損傷。
6.保証対象外の修理品の運賃等、諸掛り費用はお客様にてご負担願います。
7.本保証書は再発行致しません。大切に保存してください。
8.本保証書は日本国内においてのみ有効です。

品名	どこでも とおせんぼ (S)(M)(L)	保証期間	6ヵ月	販売店	住　所
お買い上げ日	年　月　日				店　名
お客様	ご住所	見本			TEL
	ご芳名　様				

本製品に関するご意見・ご質問がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

発売元
株式会社 日本育児
本　　社　〒541-0059 大阪市中央区博労町3-6-1 御堂筋エスジービル3F　TEL.06-6251-7420
東京営業所　〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-15 芝パークビル5F　TEL.03-5733-5252
http://www.nihonikuji.co.jp

P.JPN.1110.G

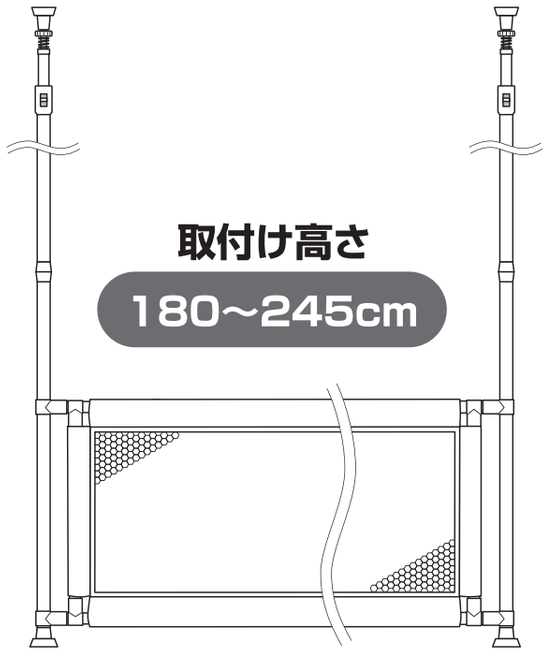
どこでも とおせんぼ

S サイズ／M サイズ／L サイズ

対象年齢　6ヵ月～満2歳まで

取付け幅

（S）65～90cm
（M）90～130cm
（L）130～185cm



取付け高さ

180～245cm

■フェンスサイズ：（S）約幅　65～　90×高さ57cm
（取り付けた状態）　（M）約幅　90～130×高さ57cm
（L）約幅130～185×高さ57cm
■突っ張りポール 高さ：約180～245cm
■重　量：（S）3.2kg（M）3.5kg（L）3.8kg
■材　質：パイプ：スチール
ネット：ポリエステル、ナイロン
■生産物賠償責任保険つき

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

取扱説明書

大切に保管してください

●このたびは「どこでも とおせんぼ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、組み立てる前に部品がすべてそろっているか確認してください。
●取扱説明書は、ご使用になる方が、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。

目　次

●お使いになる前に
⚠ 安全上のご注意……1
⚠ 危険……1
⚠ 警告……1
⚠ 注意……2
●取り付け方法
設置場所について……3
セット内容と各部の名称……4
取り付けられる高さと取り付け幅……4
組み立て方……5
●ご使用前と日常の安全点検……7

保証書裏面添付

⚠ **重要**

本製品は、お客様による設置・調整・メンテナンスが必要な商品です。
本書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。

階段上ではご使用になれません。

ベビーのために、世界から。
Nihon ikuji

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

■ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡や重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡や重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害や物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

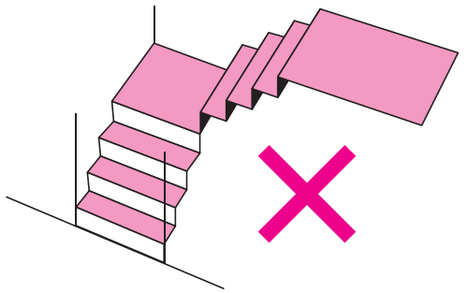
⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険 取り扱いを誤ると、死亡や重傷などを負う危険が切迫して想定されます。

⚠ 本製品は必ず保護者のもとでご使用ください。取付けた後もお子様の安全には十分ご注意ください。

階段の上や、段差の上には、絶対に設置しないでください。

禁　止



誤ってフェンスが倒れた場合、階段や段差の上から転げ落ちる原因となります。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると、死亡や重傷などを負う可能性が想定されます。

対象年齢未満、もしくは対象年齢より大きいお子さまには、絶対に使用しないでください。

対象年齢:6ヵ月～満2歳まで

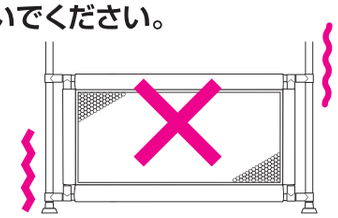
禁　止

対象年齢に満たない乳児や、対象年齢を超えた幼児に使用すると、お子さまの思わぬ動きにより、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると、死亡や重傷などを負う可能性が想定されます。

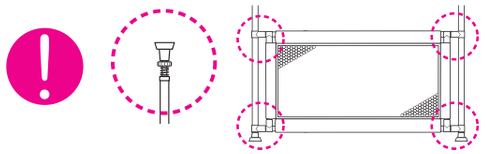
フェンスを完全に固定できない場所では使用しないでください。

禁　止



フェンスが倒れたりするなど、重大な事故の原因となります。確実に固定できる場所に設置しなおしてください。

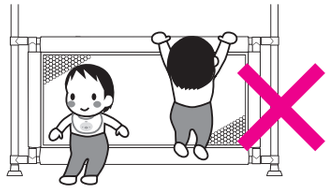
ご使用になる前に、フェンスにガタツキなどがないか、常に点検を行なってください。



ご使用中にフェンスがゆがんだりゆるんだりすると、事故の原因となります。常に、フェンスが正しく取り付けられていることを確認してください。

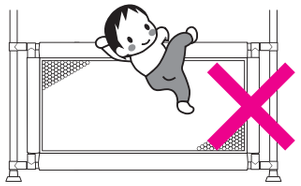
フェンスに寄りかかったり、ぶらさがったりしないでください。

禁　止



フェンスが倒れたり、破損の原因となり、重大な事故につながるおそれがあります。

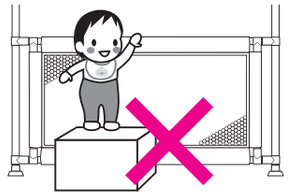
お子さまが、フェンスに登れるようになったら、使用を中止してください。



対象年齢内のお子様でも、知能・体格の成長の度合いにより、危険になる場合があります。保護者の方の判断で、使用を中止してください。

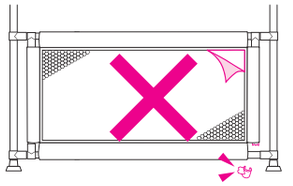
フェンスの近くに、踏み台になるような物を置かないでください。

禁　止



お子さまがフェンスに登って転落するなど、重大な事故につながるおそれがあります。

フェンス本体や部品が破損したら、ただちに使用を中止してください。



破損部位でのケガのほか、フェンスが固定できなかったり、倒れたりするなど、重大な事故の原因となります。

⚠ 注意 取り扱いを誤ると、傷害や物的損害が発生するおそれがあります。

- ●本製品は、必ず取扱説明書の指示にしたがい、正しくご使用ください。
- ●本製品の組み立て・取り付けは、必ず保護者の方が正しく行なってください。
- ●必ず保護者のもとでご使用ください。本製品を取付けた後も、お子様の安全には十分ご注意ください。
- ●本製品は、必ず天井・床面が水平な場所に取付け、フェンスの底面を床面から5cm以上あけないでください。
- ●天井や床面の材質によっては本製品が取り付けられなかったり、本製品の取り付けにより、天井材や床材が破損したりする場合があります。必ず天井材や床材の材質と強度を確かめたうえで取り付けてください。
- ●開梱したあと、ただちに箱や袋はお子さまの手の届かないところに保管、または廃棄してください。
- ●ご使用にならなかった部品は、お子さまの手の届かないところに保管してください。

お使いになる前に

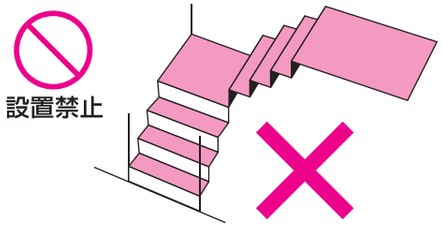
⚠設置場所について

本製品を取り付ける前に、下記の「設置禁止場所」「取り付けられる所」をよくご理解の上、適切に設置して、正しくご使用ください。

設置禁止場所

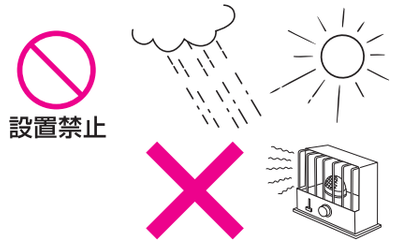
階段や段差の上

階上（降り口）、階段おどり場、階段途中、また、段差の上には設置できません。



暖房器具・火気の近く、屋外

暖房器具や火気の近く、屋外には設置できません。



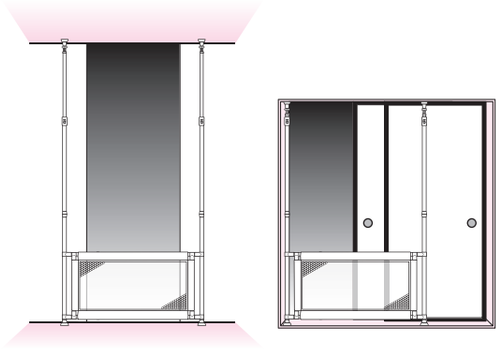
取り付けられる所

※必ず取り付ける天井の強度、形状を確認してください）

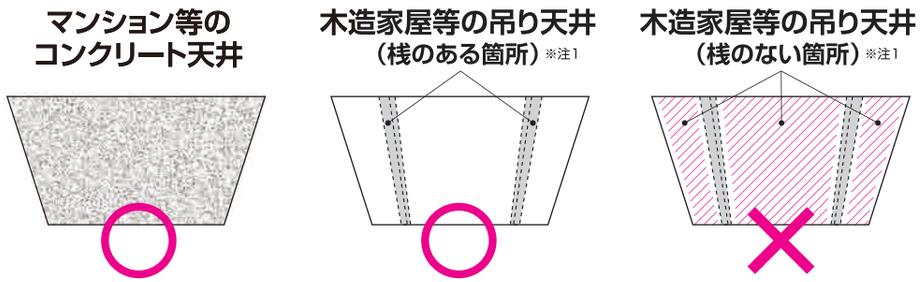
●**取り付け可能な高さと間口**のある場所で、**凸凹がない水平な天井と床面**、あるいは**引き違い戸等の框（枠の上下）**を利用して設置できます。（右図参照）

●上下の突っ張りポールで固定しますので、**丈夫な天井**に取り付けてください。

●ベニヤや石膏ボードの吊り天井の場合、必ず**桟のある箇所**に取り付けてください。※注1



⚠注意 桟のない箇所に取り付けると、天井が破損するおそれがあります。



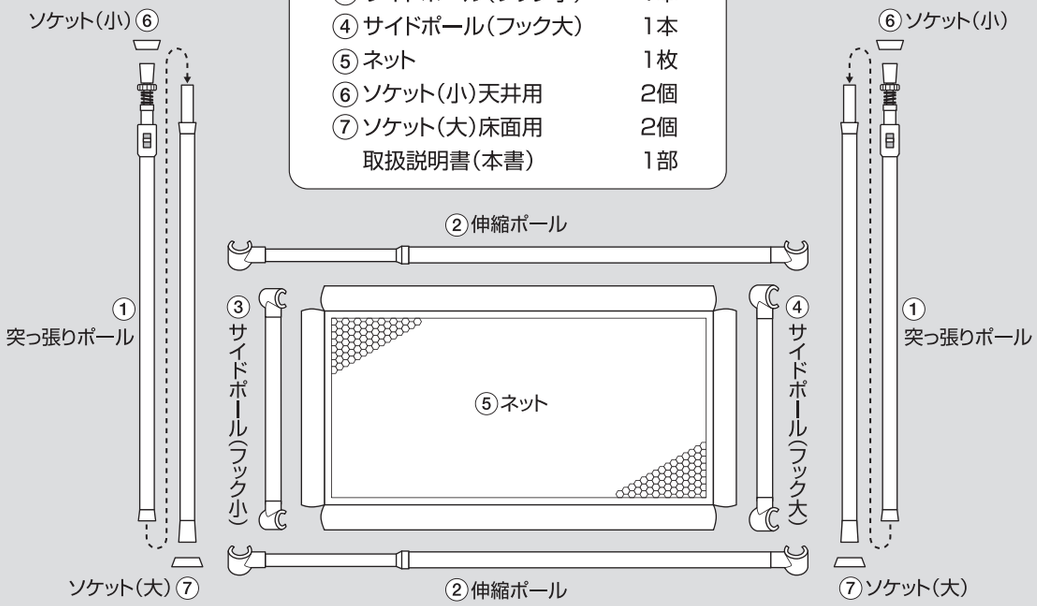
※注1：天井に隠れた桟の確認は、市販の桟探知機をお使いいただくか、お近くの工務店にご相談ください。

セット内容と各部の名称

セット内容

組み立てる前に、部品がすべてそろっているか確認してください。

①突っ張りポール	2組
②伸縮ポール	2本
③サイドポール（フック小）	1本
④サイドポール（フック大）	1本
⑤ネット	1枚
⑥ソケット（小）天井用	2個
⑦ソケット（大）床面用	2個
取扱説明書（本書）	1部

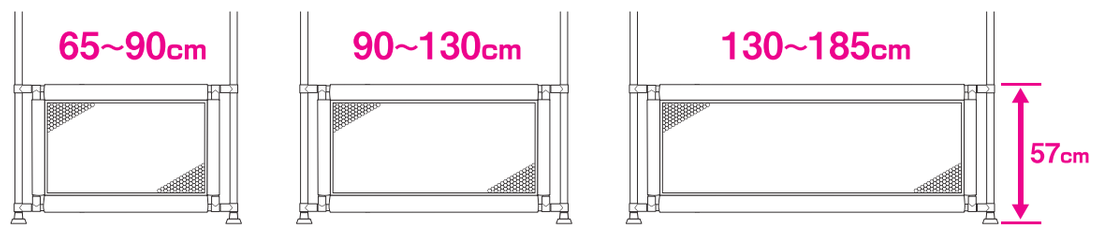


取り付けられる、高さと取り付け幅

●本製品を取り付ける場所の高さと間口寸法を測ります。

●取り付けられる高さは、各サイズとも**180cm～245cmまで**です。

S サイズ	M サイズ	L サイズ
65~90cm	90~130cm	130~185cm



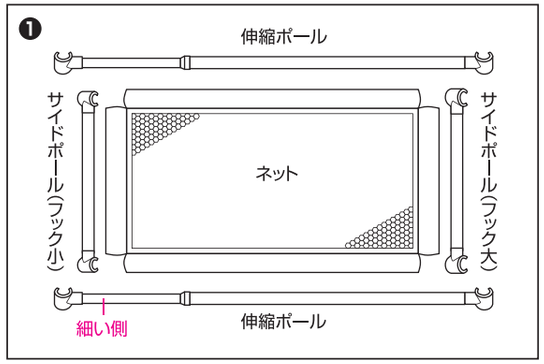
⚠警告

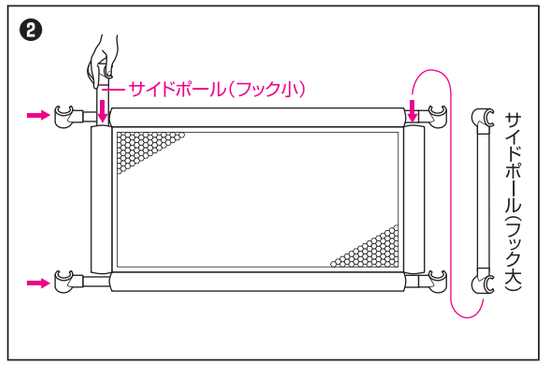
●245cmを超える高さの天井、また各サイズの取り付け幅に適応しない間口には、絶対に使用しないでください。フェンスが確実に固定できず、転倒するおそれがあり、大変危険です。

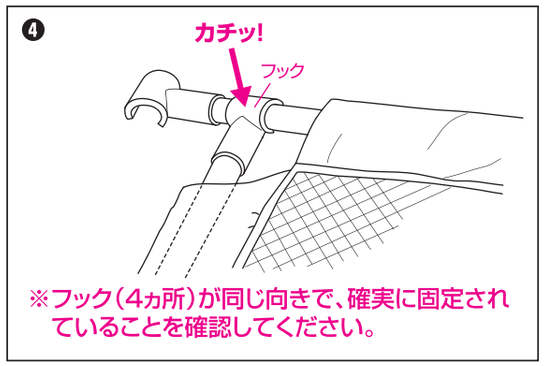
組み立て方

1 フェンスを組み立てます。

❶フェンスのパーツを平らな床に置いて、組み立てる準備をします。<❶図>
※伸縮ポールは必ず同じ向きにしてください。
※サイドポールはフックに(大・小)があります。(フック小)が伸縮ポールの細い側になります。
❷伸縮ポールをネットの上下の筒に、サイドポールを左右の筒に差し込みます。<❷図>
❸上下の伸縮ポールを、設置場所の間口に合わせて、同じ長さに調節します。
❹サイドポールのフックの向きをそろえ、伸縮ポールに「カチッ」とはめ込みます。<❹図>



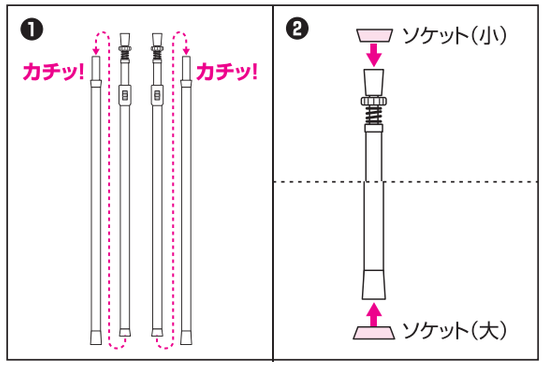




※フック(4ヵ所)が同じ向きで、確実に固定されていることを確認してください。

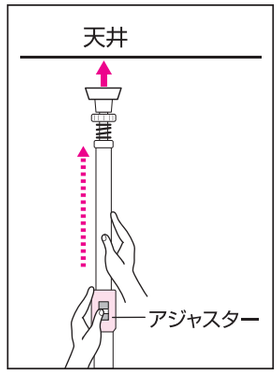
2 突っ張りポールを組み立てます。

❶突っ張りポールのジョイント部を「カチッ」と音がするまで差し込み、ポールをつなぎます。<❶図>
❷突っ張りポールの両端に、ソケットをはめ込みます。<❷図>
※ソケットの大小にご注意ください。



3 突っ張りポールを仮留めします。(脚立等をご用意ください。)

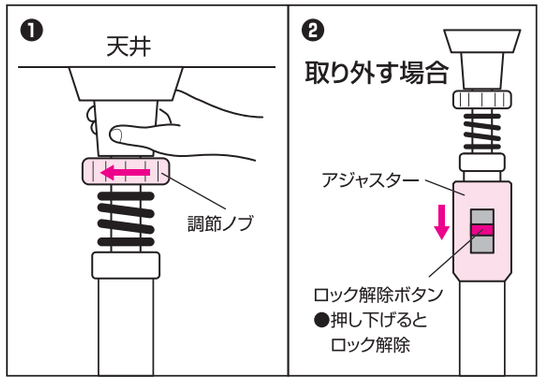
❶組み立てた突っ張りポールを、設置場所に垂直に立てます。
❷右図のように、アジャスター部分を押さえながら、突っ張りポールの上端を伸ばし、天井に軽く押し付けて手を離すと仮留めされます。もう片方も同様に仮留めしてください。
※突っ張りポールが左右とも垂直で平行になるように仮留めしてください。



⚠警告 突っ張りポールの取り付けは、高所での作業になります。転倒・転落に十分に注意しながら作業をしてください。

4 調節ノブでしっかりと固定します。

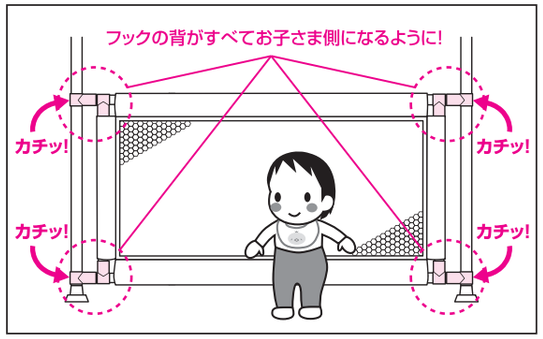
❶突っ張りポールを天井に取り付けた後、右図のように、ポールの上端部を押さえて空回りを防ぎながら、調節ノブを矢印の方向に廻していくと突っ張る強度が高まり、しっかりと固定されます。<❶図>
※天井が破損する場合がありますので、調節ノブの締め過ぎに、ご注意ください。
❷突っ張りポールを取り外す場合は、ポールの転倒に注意しながら、アジャスターのロック解除ボタンを押し下げると、ロックが解除されポールを縮める事ができます。<❷図>



⚠警告 突っ張りポールは、必ず天井・床面に対して垂直で、左右平行になるように取り付けてください。垂直でなかったり、平行でなかったりすると、突っ張りポールがはずれて転倒するおそれがあり、大変危険です。

5 フェンスを突っ張りポールに固定します。

❶サイドポールのフックの背が必ずお子さまのいる側になるようにフェンスを立てます。
❷伸縮ポール(上下)両端のフックの背が必ずお子さまのいる側にくるように向けて、突っ張りポールに「カチッ!」とはめ込みます。
❸フェンスを突っ張りポールの最下端まで下げて、左右のバランスを整えてください。
※すべてのフックが確実に固定されていることを確認してください。



⚠警告 サイドポール・伸縮ポールのすべてのフックの背が、必ずお子さまのいる側にくるように、フェンスを固定してください。(上図参照)

⚠警告

●フェンスは必ず突っ張りポールの最下端まで下げてください。
●突っ張りポールとフェンスの間隔を左右均等にし、8cmを超えないようにしてください。
●突っ張りポールの左右あるいは前後にある障害物(お子さまの通り抜けを防止する壁や家具など)と、フェンスとの間隔を5cm以上あけないでください。

※お子さまがすき間にはさまるおそれがあり、大変危険です。